

# 気仙沼市立病院改革プラン点検及び評価報告書

平成25年9月

気 仙 沼 市

# 目 次

はじめに .....	1 ページ
1 定員管理に関する計画と実績 .....	2 ページ
2 経営の効率化に係る計画 .....	3 ページ
3 数値目標達成に向けた具体的な取組 .....	5 ページ
4 再編・ネットワーク化 .....	6 ページ
5 経営形態の見直し .....	6 ページ
6 実施状況の点検・評価・公表について .....	6 ページ
7 収支計画及び経営指標 .....	7 ページ
8 指標項目の算定方法 .....	10 ページ

## はじめに

公立病院の経営の経営健全化を図るため、総務省から平成 19 年 12 月に「公立病院改革ガイドライン」が示され、これに基づき各自治体に「公立病院改革プラン」の策定が義務付けられました。

気仙沼市立病院においても、平成 21 年 7 月 1 日に「気仙沼市立病院改革プラン」(以下「改革プラン」という。)を策定しましたが、平成 25 年度まで段階的な収支の改善を行い黒字化を目指した内容となっております。

なお、評価にあたっては次の方法により行いました。

計画値と実績値を比較し、その達成率が

- ① 100%を超えた場合……………「達成」
- ② 96%以上で 100%未満の場合…「ほぼ達成」
- ③ 96%未満の場合……………「未達成」

としております。

今後も新病院の移転・新築も含め石巻・登米気仙沼医療圏の中核的医療機関として、救急医療、高度医療を含めた地域医療を継続して提供するために、経営改善の取り組みを強化し、改革プランの達成に向け努力します。

## 1 定員管理に関する計画と実績

職 種	平成 23 年度			平成 24 年度								
	実績 (単位:人)			計画 (単位:人)			実績 (単位:人)			増減 (単位:人)		
	正職	臨時	非常勤									
医師(研修医を含む), 歯科医師	49		1.7	46		4.2	50		9.1	4		4.9
医療技師	66			64			69	1.7		5	1.7	
助産師 看護師	298	6.2		311	5.5		298	7.8		▲13	2.3	
准看護師	6	1.7		5	3.8		5	6.3			2.5	
看護助手	26	4.7		25	3.0		25	5.5			2.5	
事務職	39	13.3		39	0.8		39	14.9			14.1	
労務職	4	0.7		5			4			▲1		
調理職員												
小計 (a)	488	26.6	1.7	495	13.1	4.2	490	36.2	9.1	▲5	23.1	4.9
教員	9			9			9					
事務職	1			1			1					
労務職		0.7			0.8			0.7			▲0.1	
小計 (b)	10	0.7		10	0.8		10	0.7				
合計 (a) + (b)	498	27.3	1.7	505	13.9	4.2	500	36.9	9	▲0.1		

医師については、計画では 46 人ですが実績は 50 人となり 4 人増となりました。研修医を除いた医師は 1 人の増となっております。

また、平成 24 年 10 月 1 日から麻酔科医師 1 人が常勤となっております。

研修医については、病院では募集定員を 6 人と定めておりましたが、希望された人数は 4 人で定員の人数が確保できませんでした。

また、助産師・看護師については計画値 311 人に対し実績は 298 人で 13 人の不足となりました。

震災による影響から中途退職した職員もおり、計画どおりの人数の確保ができませんでしたが、患者数の減少などにより適正な人員を配置しております。

## 2 経営の効率化に係る計画

### ① 財務内容の改善に係る数値目標

#### (ア) 総収支比率

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
97.8%	99.8%	95.5%	▲4.3%	95.7%	未達成

#### (イ) 経常収支比率

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
98.0%	99.8%	95.6%	▲4.2%	95.8%	未達成

#### (ウ) 医業収支比率

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
93.7%	97.9%	92.0%	▲5.9%	94.0%	未達成

(エ) 他会計繰入金対医業収益比率

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
10.4%	7.6%	8.7%	1.1%	114.5%	達成

(オ) 職員給与費対医業収益比率

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
52.3%	51.0%	50.5%	▲0.5%	101.0%	達成

※職員給与費対医業収益比率の実績は目標値を下回るほど「良好」であり達成率は高くなります。

(カ) 病床利用率

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
75.6%	85.4%	69.6%	▲15.8%	81.5%	未達成

※一般病床（感染症病床を除く）においては、平成 24 年 2 月から 45 床を休床しており、これを除く実質的な病床利用率は 77.3%となっております。

(キ) 院外処方率

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
82.4%	90.0%	81.3%	▲8.7%	90.3%	未達成

他会計繰入金対医業収益比率と職員給与費対医業収益比率は「達成」されたものの総収支比率、経常収支比率及び医業収支比率については「未達成」となりました。

総体的に平成 24 年度の決算における改革プランは「未達成」の結果となりました。

② 公立病院として提供すべき医療機能の確保に係る数値目標

(ア) 入院・外来患者数

■入院患者数

(単位：人)

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
124,832	140,525	114,622	▲25,903	81.6%	未達成

■外来患者数

(単位：人)

平成 23 年度 実績	平成 24 年度				
	目標	実績	増減	達成率	評価
272,099	320,950	272,247	▲48,703	84.8%	未達成

平成 24 年度の患者数は、計画人数に対し入院は 81.6%、外来は 84.8%の達成率となりました。患者サービス向上のため、安全安心の医療強化及び病床の見直しによる病床利用の効率化に努めてまいりましたが、震災の影響による人口減少や経済事情の悪化による受診抑制に伴い患者数が減少したことが要因として考えられます。

### 3 数値目標達成に向けた具体的な取組

#### (ア) 事業規模の見直し

事業規模の見直しについては、平成 21 年度に策定した「気仙沼市立新病院建設事業基本構想・基本計画」において、一般病床 336 床、感染症 4 床とすることとしていることから、平成 24 年 2 月から 1 病棟 (45 床) を休止しております。今後も新病院の開院に合わせ計画的に見直しを検討してまいります。

#### (イ) 経費削減・抑制対策

給与費に関しては、前年度に引き続き職員の協力により給料の 4%削減、定数内職員の減等により計画値と比較し 2 億 8000 万円の減となりました。

#### (ウ) 収入増加・確保対策

① 外来化学療法室などの整備による施設基準の届出により平成 23 年度と比較して患者一人あたりの入院単価が 2,968 円、外来単価 1,191 円が上昇いたしました。

今後とも施設整備等を通し、新たな施設基準の取得に努め医療収入を確保してまいります。

② 入院会計は、退院時にできるだけ精算が可能となるように取り組んでおり、発行率 (平日の退院者に請求書を発行した割合) は、53%となりました。

③ 未収金の発生を防止するため次の対策を実施しました。

- ・入院医療費の支払いに関する相談体制の充実 (医事課、医療相談室及び看護部との連携強化)。
- ・高額療養費限度額適用制度および出産一時金直接支払制度等の活用を推進しました。

#### **4 再編・ネットワーク化**

気仙沼市には、市立病院と市立本吉病院があり、共に有する病床は“一般病床”であります。また、市立病院は臨床研修病院に指定されていることから市立本吉病院での研修を行う等それぞれの医療機能により分担しておりますが、新病院の開院に合わせて検討してまいります。

#### **5 経営形態の見直し**

地方公営企業法の一部適用（財務規定のみ）は、職員の任免権、給与の硬直性など病院運営の自主性が制限され、また、迅速な意志決定が行えない等の課題が指摘されており、地方公営企業会計の改正や、新病院の建設を見据えながら、改革プラン最終年度（平成 25 年度）を目途に、全部適用等の先進事例を参考にしながら、適切な経営形態を検討してまいります。

#### **6 実施状況の点検・評価・公表について**

総体として「未達成」となっておりますが、新たな施設基準の届出による収入の確保や経費の抑制に努め、今後ともプランに添って努力してまいります。

なお、この内容については当院ホームページ等にて公表します。